

8-4-13 海岸・海洋専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

海洋分野の新たな市場開拓を主な目的として沿岸域の総合的な管理等に関わる情報収集、情報交換等の委員会を8回(4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、1月)開催した。今年度は、新型コロナ感染症拡大防止のため、2回はメール審議、4回はWeb会議とした。

(2) 海岸の現地視察の中止

例年、海岸・海洋セミナーの開催に先立って、地域に根ざした沿岸域管理と海岸域のまちづくりのために建設コンサルタントが担うべき役割等を議論することを目的に、現地視察と意見交換会を実施している。今年度は、神奈川県湘南海岸を対象に8月に行う予定であったが、コロナ禍であるため、実施を断念した。

(3) 海岸・海洋セミナー（第12回）の開催

神奈川県で実施してきた海岸事業を振り返るとともに、コロナ禍における新たな海辺利用の安全管理の事例について紹介した。また、気候変動等の大きな課題を抱える中、これから海岸保全や海辺の事故防止に向けた新しい海岸利用のあり方について考え、建設コンサルタント業務の拡大と役割について考えることを目的として開催した。

- a) テーマ：「気候変動等の課題を踏まえたこれからの海岸保全・海岸利用のあり方」～神奈川県湘南海岸を事例として～
- b) 日時：令和2年12月9日（水）13:30～17:00
- c) 場所：東京セミナースタジオ(WEB配信)
- d) 参加者数：140名
- e) 講演概要

【講演1】「神奈川県における海岸事業の取組と課題（湘南海岸を事例として）」

神奈川県藤沢土木事務所 細川 順一氏

神奈川県の相模灘における海岸事業の取り組みと藤沢海岸、茅ヶ崎海岸（中海岸地区）での2つの取り組み事例を紹介いただくとともに、

海岸事業の今後の進め方、課題及び今後の対応についてご講演いただいた。

【講演2】「Covid-19危機下における新たな海岸利用の安全管理」

中央大学研究開発機構 機構教授 石川 仁憲氏
海水浴場の開設状況や安全管理の取り組み、Covid-19危機下における海水浴場の課題、新たな海岸の安全管理、安心・安全な海辺空間の創出についてご講演いただいた。

【講演3】「気候変動の影響等を踏まえたこれらの海岸保全のあり方について」

高知工科大学システム工学群教授 佐藤 慎司氏
地球温暖化と海面上昇、IPCCによる影響予測など、海面上昇が及ぼす海岸保全への影響、海岸における適応策などについてご説明いただいた。また、海岸保全に影響する気候変動の現状と予測、今後5～10年の間に着手・実施すべき事項についてご講演いただいた。

【全体討議】

講演者と参加者より以下の提案等を頂いた。

- ・地域特性を活かした海岸保全、人口や資産が集中する三大湾の積極的なハード整備、利用者の多い海水浴場等の安全な海岸管理等、その場に即した対応の必要性
- ・建設コンサルタントの情報発信は、地域特性を活かした海岸保全や安全な海岸利用につながるため、気候変動等の大きな課題に対する具体的な対策も積極的に行政に提案すべき

(4) RCCM自主学習教材の改訂について

RCCM自主学習教材に関し、「河川、砂防及び海岸・海洋」の講義の一部資料の改訂を行った。

2. 次年度の活動について

これまでの活動内容を踏まえ、以下の活動を継続的に行う予定である。

- (1) 沿岸域の総合的な管理に関わる情報収集と検討課題の把握
- (2) 海岸の現地視察と意見交換会
- (3) 令和3年度海岸・海洋セミナーの開催による技術情報の発信
(海岸・海洋専門委員会委員長 加藤 憲一)